

第 406 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2022 年 7 月 29 日(金) 17 時 45 分~18 時 30 分

場 所: 創立 30 年記念棟 3 階大会議室(常念岳)

演 者: 片桐 さやか 氏

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 准教授)

口腔内細菌叢破綻の全身への影響

私は東京医科歯科大学歯学部を卒業後、歯科医師臨床研修を経て東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科の博士課程に進み、歯周病と糖尿病に関する臨床研究を行いました。歯周治療によって 2 型糖尿病患者の血糖コントロールが改善するというを示し、これは現在の糖尿病学会のガイドラインにも引用されています。大学院卒業後は、糖尿病に関する臨床研究に加え、歯周病と妊娠・出産に関する臨床研究を行ってきました。口腔内から *Porphyromonas gingivalis* が検出された妊婦は切迫早産や早産のリスクが上昇することが明らかになり、より安全な出産に向けて、口腔内を健康に保つ重要性が示されました

口腔と全身の関わりにはとても興味があり、臨床研究を中心に行ってきましたが、そのメカニズムを解明したいという思いが強くなってきたころに、幸いにも、サンスター財団金田博夫研究助成基金に採択していただきました。米国ハーバード大学 ジョスリン糖尿病センターの George L. King 先生の研究室へ留学することができ、ここでは糖尿病における創傷治癒遅延における研究をテーマとしていただきました。動物や細胞の扱い方を 2 年半、丁寧に指導していただき、また、臨床研究と基礎研究の融合のさせ方など、帰国してから再び口腔科学研究を行うにあたっての礎となりました。

現在は、口腔を 1 つの臓器としてとらえ、各世代別で社会問題となっている様々な代謝性疾患に注目し、エネルギー代謝に重要な、肝臓・脂肪・骨格筋とのクロストークを解明する研究を行っています。臓器別および全世代をターゲットとした臨床および基礎研究の両面のエビデンスを構築し、新たな代謝異常の予防戦略の策定につながる研究を目指しています。

*Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine*

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

プロフィール

- 1997年 長野県立飯田高等学校普通科 卒業
- 2003年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
- 2003年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 臨床研修歯科医
- 2008年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 修了
- 2008年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員
- 2009年 日本歯周病学会 専門医
- 2011年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 助教
- 2012年 Joslin Diabetes Center (米国) 博士研究員
- 2014年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 助教
- 2018年 日本歯周病学会 指導医
- 2020年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 歯周病外来 講師
- 2021年 東京医科歯科大学病院 歯周病科 准教授

座長:健康増進口腔科学講座 吉成 伸夫

担当:硬組織疾患制御再建学講座 宇田川 信之